

湯沢砂防事務所は女性モニターの皆さんと一緒に、より良い砂防について考えています。

年明け1月23日火曜日、10名のモニターの方々に参加いただき、今年度のしめくくりとしての意見交換会を行いました。

*****プログラム*****

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 意見交換 「今年度の活動の感想」
- 意見交換 「女性モニターによる情報発信冊子作りについて」
- 意見交換 「次年度に向けて」
- 15:55 閉会挨拶
- 16:00 終了



10名の皆さんに参加いただきました。

今年度のモニター見学会の様子



第1回見学会：万太郎谷第4号砂防えん堤工事現場



第2回見学会：苗場砂防えん堤工事現場



第3回見学会：南平地区の鋼製セル型砂防えん堤工事現場

意見交換 今年度の活動の感想

まず、今年度、これまで7回の活動の感想からお話いただきました。

今年度の活動

- 第1回 H18.6.17(土) 第1回魚沼自然塾 登川流路工
- 第2回 H18.7.21(金) 現場見学会(1) 魚野川上流
- 第3回 H18.8.29(火) 現場見学会(2) 中津川上流～下流
- 第4回 H18.9.9(土) 第2回魚沼自然塾 十日町市松之山他
- 第5回 H18.10.14(土) 第3回魚沼自然塾 芋川東竹沢工事現場
- 第6回 H18.10.27(金) 現地見学会(3) 芋川流域 芋川中流～上流
- 第7回 H18.12.9(土) 第4回魚沼自然塾 湯沢町公民館
- 第8回 H19.1.23(火) 意見交換会 湯沢砂防事務所会議室

今年はじめて女性モニターに参加して

- ・ 河川の下流域に住んでいて、初めて山奥の砂防工事の意味を実感しました。
- ・ ここ最近の災害を見ていると、砂防の必要性を私なりに痛感しました。それぞれの活動で勉強になり、工事に携わっている人たちの苦勞が伝わりました。



- ・ 今年初参加ですが、現地を見せてもらい、勉強させてもらっています。こういうものを教えていただけるだけでも感謝していますし、今後もレベルアップした知識をつけていきたいです。

砂防工事と自然に関して感じたこと

- ・ 山古志を見学できて良かったのですが、工事の規模が大きすぎて、山古志の自然というのが悪く言えば全然見えなくなってしまったように思います。もうちょっと自然を残して、自然とマッチしたものが良かったかなと、自分の中でショックを感じました。
- ・ 環境破壊とか自然環境に対する興味が今とても深まっていると思います。工事が自然破壊というだけでなく、工事をしていなかったため自然破壊が進む場合があることを、モニター活動を通じて知りました。砂防えん堤が環境を整えていることも子供たちに知ってもらいたいです。
- ・ 工事で自然が破壊されるというけど、「何年かかけて回復する」ことが出来れば良いのです。大規模な工事といわれるが、基礎工事はしっかりしないとイケないと思います。
- ・ 地形というのは常に動いていて、自然の力でどんどん形を変えているのだということを一番学ばせてもらいました。なるべく工事も自然に逆らわないような形で、でも人間も安全に暮らしていけるような妥協点、接点を見つけてやっていくのが良いなと感じました。
- ・ 現地見学での説明で、地元、工事現場から出た物を使うということの意味が分かりました。生き物に対しても害がないということも付け加えて、PRしたらいいと思います。

意見交換 女性モニターによる情報発信冊子作りについて

今年度は、「砂防の情報発信」について集中的に意見交換を行ってきたことから、寄せられた意見や感想を冊子にまとめることになりました。

冊子のスタイルについて

- ・ 活字ばかりでまとめるのではなく、写真なども加えたい。
見学状況が分かるような写真を加えたり、場所の説明を加えるようにしました。
- ・ 女性モニターが作った冊子であることがわかるようにしたい。
- ・ タイトルを工夫したい。

サブタイトルを「女性モニターから見たナルホドとハテナ」とすることにし、目次は以下としました。

1. 活動の感想
2. 意見交換会で出された課題
3. 「砂防」についてもっと分かってもらうために

冊子の価値について

- ・ 一般の人達からすると、役所が作るものよりも、女性モニターという立場からのレポートの方が、市区長さんや学校の先生に持っていったりするのも、読んでいただけると思います。

冊子に掲載する内容・・・特に「砂防の情報発信」について

*対象別のアプローチを！

- ・ 理解度とか興味度とかに従ったアプローチの仕方が必要だと思います。全く興味の無い人には、子供の夏休みの行事と合わせて川のことを知ってもらったり、逆に興味のある人には工事の写真やデータを出していくこともできるのではないのでしょうか。
- ・ 夏休み前に学校の先生が子供たちに注意しますが、そこを利用できないのでしょうか。
- ・ 親も一緒に参加できる学級行事などを利用するのはどうでしょうか。学校の授業だとカリキュラムが自由になりませんから。
- ・ 川へ興味を持ってもらうために、子供の年代に合わせた絵画コンクールはどうでしょうか。子供たちが、川や砂防えん堤の絵を描くために川へ行きたいと言えば、親はついて行きますよ。



出来上がった女性モニターの冊子

* 砂防の必要性を伝えること！

- ・ わたしたちは山があって木があれば大丈夫だと思っていたのですが、この魚沼の地形ではそれよりもさらに下のところから山が崩れて土砂崩れが起きるということ、荒廃っていうだけが問題じゃないと知ることができました。上流へ行ったら地形がこうなっていてという勉強もみんなが分かっているやいけませんことだと思います。
- ・ 砂防の必要性を伝えるのには、小難しい数値なんてダメでしょう。一目で分かるには直感的にも理解ができ、説明を加えれば「ああそうだね」って分かるようにしたいと思います。
- ・ 山が荒れていて山を治めるのに砂防施設が大きくなるのは仕方がない、ということを説明しなければ分からないと思います。



* 伝え方にもっと工夫を！

- ・ 山が荒廃している様子、工事中、工事完了直後、何年後かの現場の写真、もしくは未来予測図など、写真だけで説明できる内容にならないでしょうか。
- ・ 教育センターに「資料がある」とか「ビデオの貸し出しやこういう講師を派遣できる」とか置くといいし、使えるのではないのでしょうか。資料を作って学校に配っても、現場は忙しいから見なかったりします。各教育センターに置く方が、効果があると思います。
- ・ モニターで作る冊子は分かりやすいので、地域の役所だけではなく、いろんな所への働きかけに活用するといいと思います。
- ・ インターネットの活用でホームページの話が出たときに、ほとんどの人がホームページを見ていなかったというのがすごく衝撃的でした。



意見交換 次年度に向けて

今後の女性モニターをより良い活動にするため、来年度の活動について、要望などをお聞きしました。

- ・ 今年度、遠方のモニター希望者が増えたのは新聞の力なので、同じようにメディアを通して、より他方より参加してもらい、より多くの意見を述べてもらうのが良いと思います。
- ・ 何年も継続して同じ場所を見学して、進捗状況等、完成した様子など見たいです。
- ・ 新しい意見が言える活動がしたいです。
- ・ モニターになってからの年数に合う勉強会などを開いてもらいたいです。
- ・ 工事している所、終わった所の最初と完成しつつある様子等をビデオなどで保存してあれば、映写会などを開いて見せてほしいと思います。
- ・ 自然塾等の際にモニターをもっと役立てられないでしょうか。余り目立ちたくはないものの、モニターが活動することによって塾生の意識改革になれるのではないかと思います。
- ・ 私たちの活動が形になって何かに残せないかという希望がありましたが、活動内容が外に向かって発信できることは私たちの喜びであるし、これからの展望でもあるので、是非モニターの冊子を活用していただきたいと思います。



*** 湯沢砂防への質問 ***

Q : 三国川は湯沢砂防の管轄 ?

A : 砂防事業については湯沢砂防の管轄ですが、上流に三国川ダムができたので、その上流はほとんどやっていません。三国川ダムを作ったのは国交省、当時三国川ダム工事事務所というのを作って、ダム建設をしました。現在は三国川ダム管理事務所として管理だけする事務所になっています。



Q : 川の中での工事は砂が出るなど、魚にも影響が出るのでは ?

A : 工事の際は漁協の方と話し合い、「産卵時期は工事をしない」などの魚への配慮をしています。また、影響が少ないように冬場に工事を行うなど工夫をしています。



Q : 芋川流域の復旧工事の費用は、通常の砂防工事の費用と違うの ?

A : 災害復旧のための特別な予算で工事を進めています。災害に対しては、すばやい復旧をするために通常予算の枠にとらわれず必要な経費を確保して工事を進めることができるようになっています。

湯沢砂防より

多くの方に意見交換会へ出席いただき、ありがとうございます。また、1年間、精力的な活動をしていただいたことに感謝しております。女性モニターの皆様から頂いたご意見をしっかり受け止め、これからの事業に反映させて、地域の皆様方に伝えていかななくてはいけないと考えています。今後共よろしく願います。

お問い合わせ先 : 国土交通省 湯沢砂防事務所 調査課 TEL : 025-784-2073 FAX : 025-784-2441
〒949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立 23 ホームページ : <http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>

平成 19 年度 湯沢砂防女性モニターを募集します !

湯沢砂防女性モニター制度は、湯沢砂防が開催するイベント等に参加していただき、土石流などの土砂災害から地域住民の生命や財産を守る砂防事業を知っていただくとともに、今後のより良い砂防事業について共に考えていただこうと設立された制度です。

ただいま来年度の女性モニターを募集しております。お気軽にお申し込みください。



湯沢砂防職員が現場をご案内します。



- * 地域に住んでいる女性の方が対象です。
- * 出席者には交通費等をお支払いします。
- * 登録が必要ですが、毎回参加できない方でも OK です。

受付窓口 ゆきぐにがっこうおうえんたい 雪国楽校応援隊 025 - 781 - 5556

お問い合わせのみでも結構です。
お申込の場合は、お名前・ご住所・連絡先をお伺いします。
個人情報厳重に管理し、モニター活動を運営する際の各種連絡にのみ使用します。